



2013-2014 年度

国際ロータリー会長 / ロンド・バートン  
2690地区ガバナー / 森本 信一

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

会長 / 飯塚 大幸 副会長 / 内田 節夫  
幹事 / 佐々木 哲也 会計 / 石原 輝男

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
1月30日	大国 瑞恵様	「日本の旅情」
2月6日	会員増強・会員維持委員会 委員長 持田稔樹	会員増強について
2月13日	前 島根県教育委員長 北島 建孝 様	「出雲と伊勢」

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
42	29	13 (3)	74.36 %	84.62 %

欠席者

黒田 / 田中浩 / 横野 / 園山 / 石原輝 / 大谷 / 来間 / 河原 / 内田  
土江(山根 / 牧野 / 木村)

来訪者

浅津(出雲南)

メイクアップ

1/24 黒田・遠藤(出雲南) 1/28 田中浩(松江しんじ湖)

次回例会受付当番

(2月13日) 小村益造 / 来間 久 / 横野良文

(2月20日) 福田磨寿穂 / 持田稔樹 / 小汀泰之

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江南
火	出雲	松江しんじ湖
水	大社	松江
木		松江東 1/30
金	出雲南	

会長挨拶

「節分」

「節分」とは、季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日です。「季節を分ける」ことも意味しています。江戸時代以降、特に立春の前日だけを「節分」と言うそうです。大寒の最後の日で、寒さはこの日がピークです。(いわゆる「節分荒れ」です) 節分では「福は内、鬼は外」と声を出しながら福豆(炒り大豆)を撒いて、年齢の数だけ(もしくは1つ多く)豆を食べる厄除けを行います。宮中での年中行事でした。近代、庶民に採り入れられ、節分当日の夕暮れ、柊の枝に鰯の頭を刺したもの(柊鰯)を戸口に立てておいたり、寺社で豆撒きをしたりするようになりました。節分の日付は現在は毎年2月3日ですが、これは1985年から2024年ごろまでに限ったことであり、2025年から(2021年からになる可能性あり)は閏年の翌年に2月2日になるといわれます。

豆には「穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっている」という信仰、または語呂合わせで「魔目(豆・まめ)」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあるそうです。掛け声は「鬼は外、福は内」。しかし、「福は内、鬼も内(鬼は内)」、「福は外、鬼は内」、地域や社寺によりバリエーションもあります。

最近、有名な恵方巻きは、もと大阪や関西で「巻き寿司」や「丸かぶり寿司」などがあり、これが「恵方寿司」「招福巻」「幸運巻」「開運巻き寿

司」などと表現されることも、平成10年にセブン-イレブンが商品名に採用し全国発売したということです。

本日は、大国瑞恵様、スピーチをよろしくお願ひいたします。

幹事報告

1. ロータリー青少年 指導者養成プログラム(RYLA)開催のご案内

日 時 3/23(日) 9:30 ~ 受付

会 議 10:00 ~ 16:30

場 所 津山鶴山ホテル

参加対象者 14歳から30歳までのインターアクト・ローターアクト会員、その他青少年推薦をお願い致します(事務局まで)

2. 出雲ロータリークラブより

創立60周年記念ゴルフコンペのご案内

日 時 3/23(日) 9:00 集合 9:38 スタート

場 所 出雲空港カントリー倶楽部

登 録 料 3,000円(プレーフィー、飲食等各自)

申込締切 2/28(金)

3. 熊平雅人様(東京RC)より「抜粋のつづり その73」をいただきましたので本日配布いたします。

スマイル

飯塚大・佐々木 (出雲南 RC 浅津様、ようこそいらっしゃいました。大国瑞恵さん、今日はスピーチよろしくお願ひします。)

加藤昇 (瑞恵さん、ようこそいらっしゃいました。平素は色々お世話になっています。今日はスピーチを楽しみに来ました。)

園 (大国様ようこそいらっしゃいました。本日は所用の為早退させていただきます。)

清原 (大国様いつもお世話になりありがとうございます。本日は宜しくお願いします。)

石原俊 (大国さん、ようこそお越し下さいました。持ち前の人を明るくする笑顔で今日も会場を明るくして下さい。)

堀江 (大国さん、ようこそ。本日卓話を楽しみにしておりましたが、所用が出来、失礼致します。)

スピーチ・例会行事

「日本の旅情」 大国 瑞恵様

私は高校を卒業後8年間バスガイドをしておりました。色々なところに行きましたが、自分を磨く旅だった気がします。



旅と言いますと、人生をより良くするための手段であると思います。最近、旅行に行く人、行かない人が分かれるようです。行く人にとってはその後の生活がいかに潤うかを実感し、帰ってから更に頑張ろうとします。行かない人は、楽しんで終わりです。

旅は出会いもあれば別れもあり、不思議な再会もあります。また旅は日本の歴史や伝統文化を学び感じることが出来ます。日本には四季の移り変わりがあり、その季節ごとに見るもの食べるものが違うのも、日本の旅で感じ取れる楽しみではないでしょうか。